

Q 市の抱える諸課題
解決のために

いずもびんたろう
出雲敏太郎 議員



A ごみの戸別収集は、現時点では難しい

問 市財政の現状と課題は。

答 現状では、おおむね健全である。しかし、今後は、少子高齢化の進行等による歳入減と、経常経費や老朽化した公共施設に係る経費等の歳出増が見込まれ、厳しい財政運営が続くと考えている。

問 人工知能等を活用した人件費の削減は。

答 人工知能等を活用した人件費の削減は、行政改革推進計画に基づきながら、革新技術等を活用し、適切に人件費の削減を進めていく。

問 老朽化が進む公共施設の統廃合について、市民との情報共有は。

答 対象施設は、具体的には決まっていない。今後、議会や市民の意見を聴き、情報を共有しながら進めていく。

問 シティプロモーションに関し、市に呼び込みたい層の明確化を。

答 シティプロモーションに関し、市に呼び込みたい層の明確化を。



ごみ集積所

問 各種調査を分析し検討したい。

答 ごみの戸別収集の考えは、戸別収集と有料化により、ごみの発生を抑制できるメリットがある。しかし、有料化してもなお多額の税金を投入する必要があり、現時点での導入は難しいと考えている。

問 部活動参加の任意性の周知は。

答 部活動参加の任意性の周知は、入学説明会や部活動保護者会等で説明しているが、浸透していない面もある。今後も丁寧に説明をしていく。

Q 都市計画道路「鶴ヶ島日高線」の延伸

すぎた やすゆき
杉田 恭之 議員



A 市の道路ネットワークの充実の観点からも優先度は高い

問 現在工事中の都市計画道路鶴ヶ島南通り線と川越鶴ヶ島線の工事の完了と供用開始の時期は。

答 鶴ヶ島南通り線全線と、川越鶴ヶ島線のうち圏央鶴ヶ島IC影響範囲外は、平成31年度に着工し、同年度末までの供用を目標としている。川越鶴ヶ島線のうち圏央鶴ヶ島IC影響範囲内については、IC設計と合わせて道路設計を行う必要がある。国、埼玉県及びネクスコ東日本とともに、圏央鶴ヶ島IC立体ランプ調整会議を設置し、具体的な作業等を協議しているところである。

問 2路線の完了後の次期都市計画道路の計画路線は。

答 31年1月現在、20路線を都市計画決定しており、2路線の事業完了後の未整備路線は8路線となる。31年度にこれらの路線の課題等を検証し、優先順位を検討していく。

問 都市計画道路の次期最優先道路としての鶴ヶ島日高線の延伸に向けた具体的な計画時期は。

答 都市計画道路鶴ヶ島日高線は、市の道路ネットワークの充実を図る観点からも優先度の高い路線であり、次の路線の1つとして考えている。課題等を検証し、市の財政状況を考慮しつつ、優先度の高い路線から順次整備を進めていく。



都市計画道路 鶴ヶ島日高線予定地